

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和1年6月26日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県杵築市熊野1-111

氏 名 大分キヤノンマテリアル株式会社

代表取締役社長 堅志 英之

電話番号 0978-64-2111 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成30年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大分キヤノンマテリアル株式会社 杵築事業所		
事業場の所在地	大分県杵築市熊野1-111		
事業の種類	業務用機械器具製造業		
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	464.063 t	全処理委託量	248.499 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への 処理委託量	9.000 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への 処理委託量	24.377 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	215.564 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

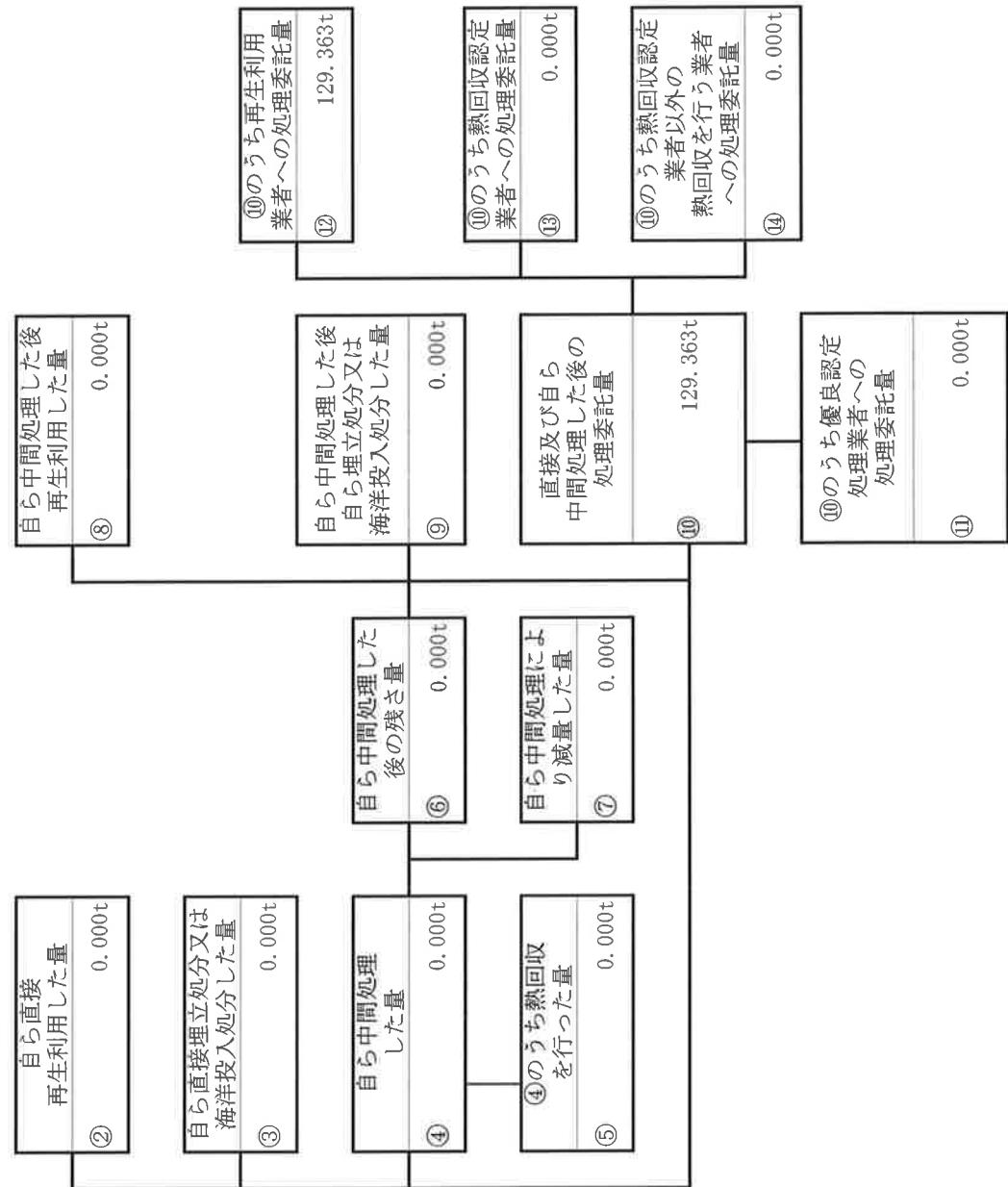
(産業廃棄物の種類： 産業廃棄物/廃プラスチック類 )

有 傷 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
② 0.000t排 出 量  
① 129.363t自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③ 0.000t自ら中間処理した後  
再生利用した量  
⑧ 0.000t

項目	実績値
①排出量	129.363t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	129.363t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用業者への処理委託量	129.363t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.000t



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 産業廃棄物/廃油 )

有 債 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

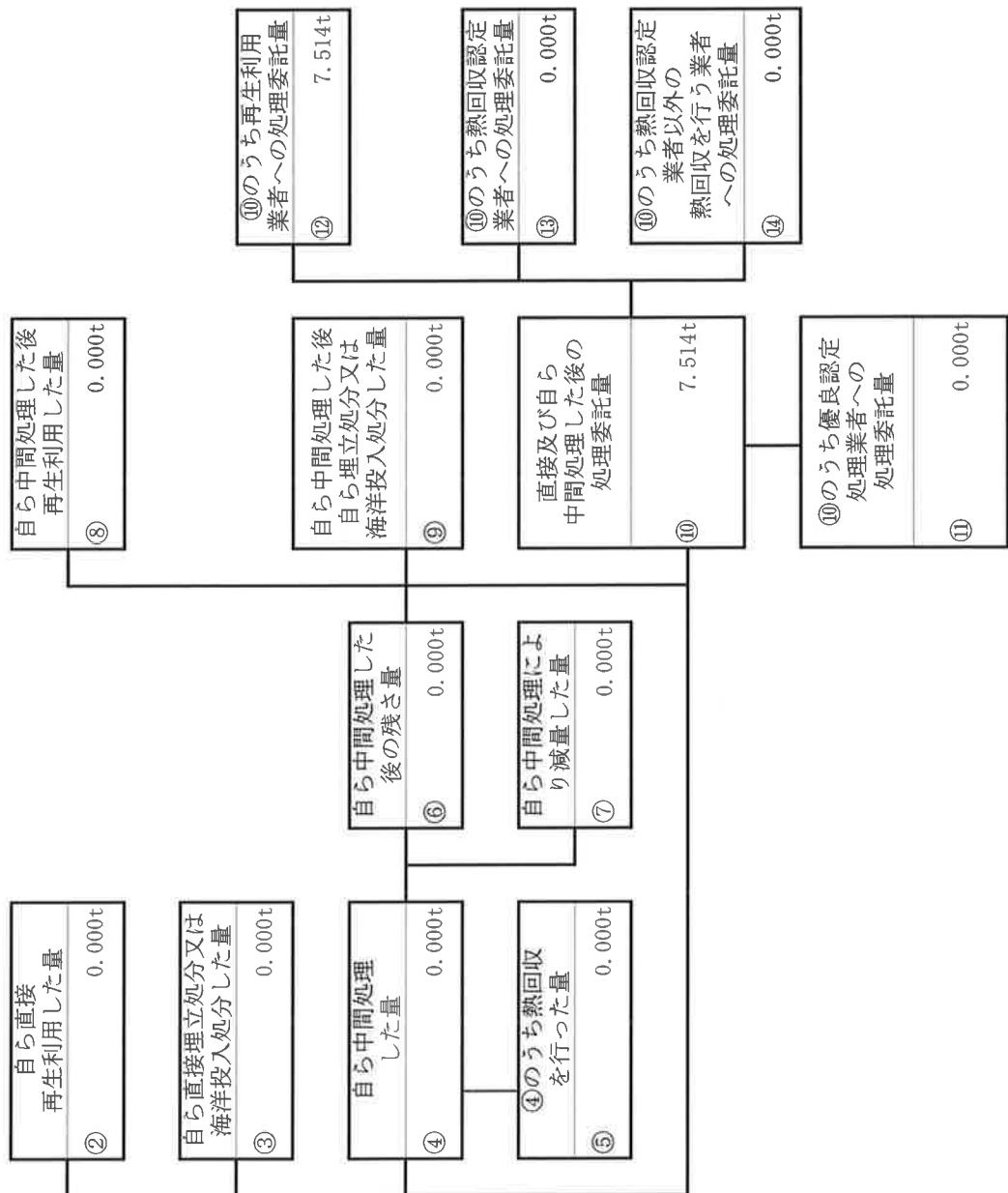
自ら直接  
再生利用した量  
② 0.000t

排 出 量  
① 7.514t

自ら直接立処分又は  
海洋投入処分した量  
③ 0.000t

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
② 0.000t

項目	実績値
①排出量	7.514t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	7.514t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.514t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t



(第2面)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 産業廃棄物/廃アルカリ )

有 傷 物 量
不要物等発生量

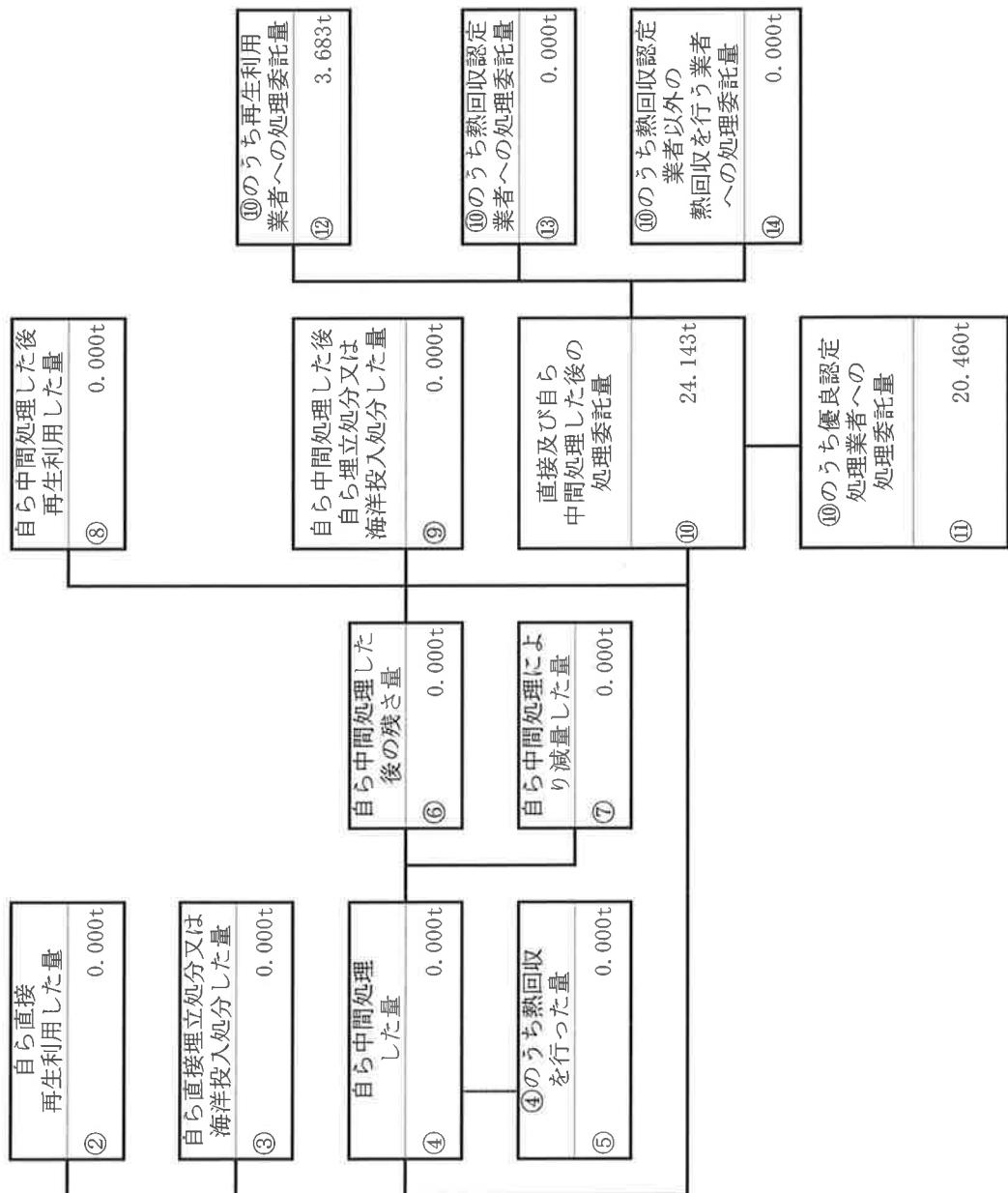
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
② 0.000t

排 出 量
① 24.143t

自ら直接 再生利用した量
③ 0.000t

項目	実績値
①排出量	24.143t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	24.143t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.460t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.683t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 産業廃棄物/汚泥 )

有 傷 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量
0.000t

排 出 量
① 277.852t

自ら直接再生利用した量
② 0.000t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0.000t

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0.000t

項目	実績値
①排出量	277.852t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら中間処理により減量した量	0.000t
⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	198.476t
⑩全処理委託量	39.696t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.600t
⑫再生利用業者への処理委託量	23.096t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

自ら中間処理した後の残さ量
---------------

自ら中間処理した後の残さ量
---------------

自ら中間処理により減量した量
----------------

自ら中間処理した量
-----------

④のうち熱回収を行った量	39.680t
⑤	0.000t
⑥	39.680t
⑦	198.476t
⑨	0.000t
⑩	39.696t
⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	16.600t
⑫	0.000t
⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	23.096t
⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 産業廃棄物/ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

有 傷 物 量
---------

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
② 0.000t

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
⑧ 0.000t

排 出 量  
① 1.888t

自ら直接立処分又は  
海洋投入処分した量  
③ 0.000t

項目	実績値	項目	実績値
①排出量	1.888t	④自ら中間処理 した量	0.000t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t	④のうち熱回収 を行った量	0.000t
⑤自ら中間処理により減 量した量	0.000t	⑥自ら中間処理した 後の残さ量	0.000t
⑦自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000t	⑦自ら中間処理によ り減量した量	0.000t
⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0.000t	⑧自ら中間処理した 後の残さ量	0.000t
⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	1.888t	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0.000t
⑪優良認定業者への 処理委託量	0.000t	⑪のうち優良認定 業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用業者への処 理委託量	1.888t	⑫のうち熱回収認定 業者以外の業者への 処理委託量	0.000t
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.000t	⑬のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000t	⑭のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0.000t

(第2面)

### 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：産業廃棄物/木くず)

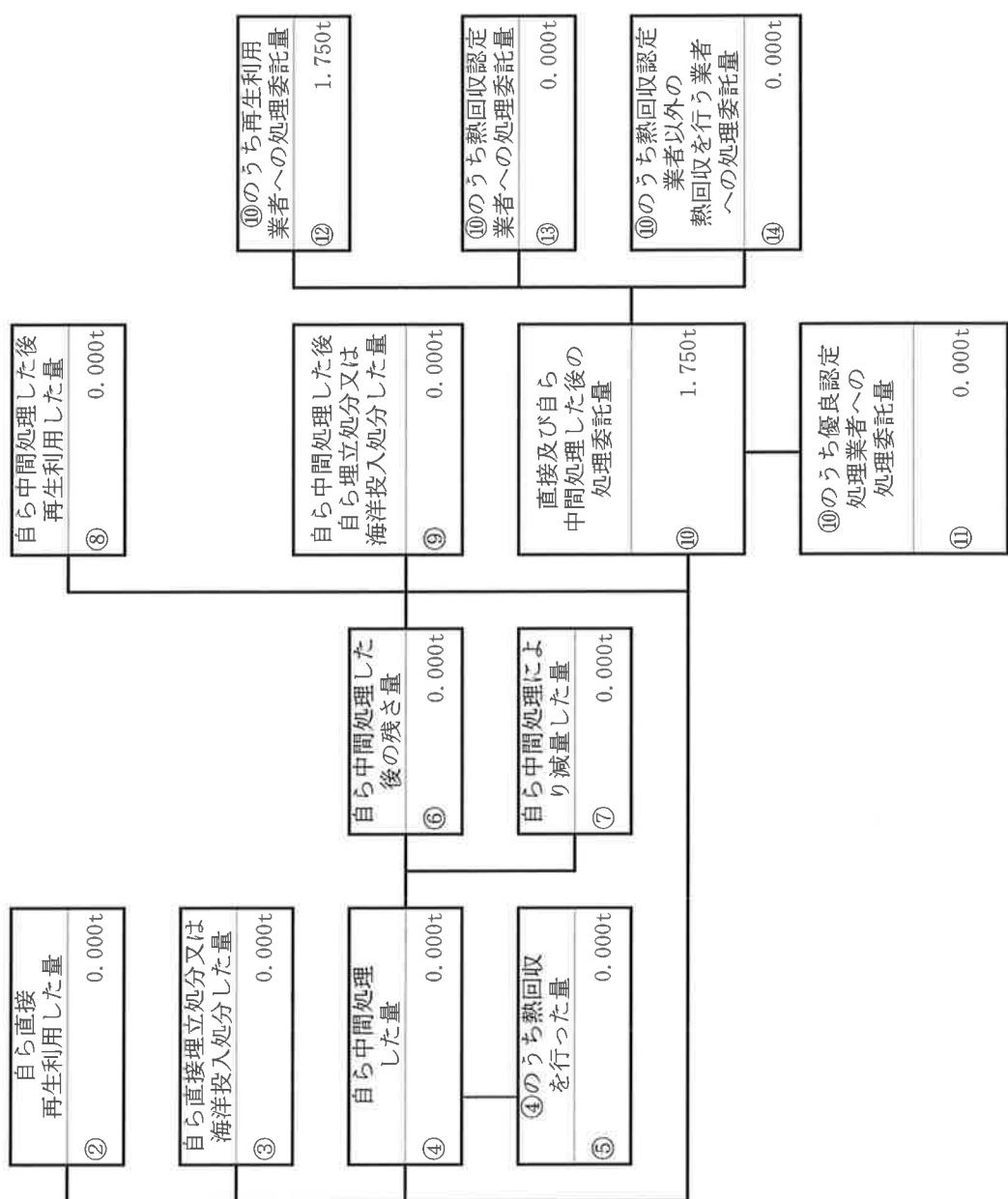
量物償有

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
② 0.0001

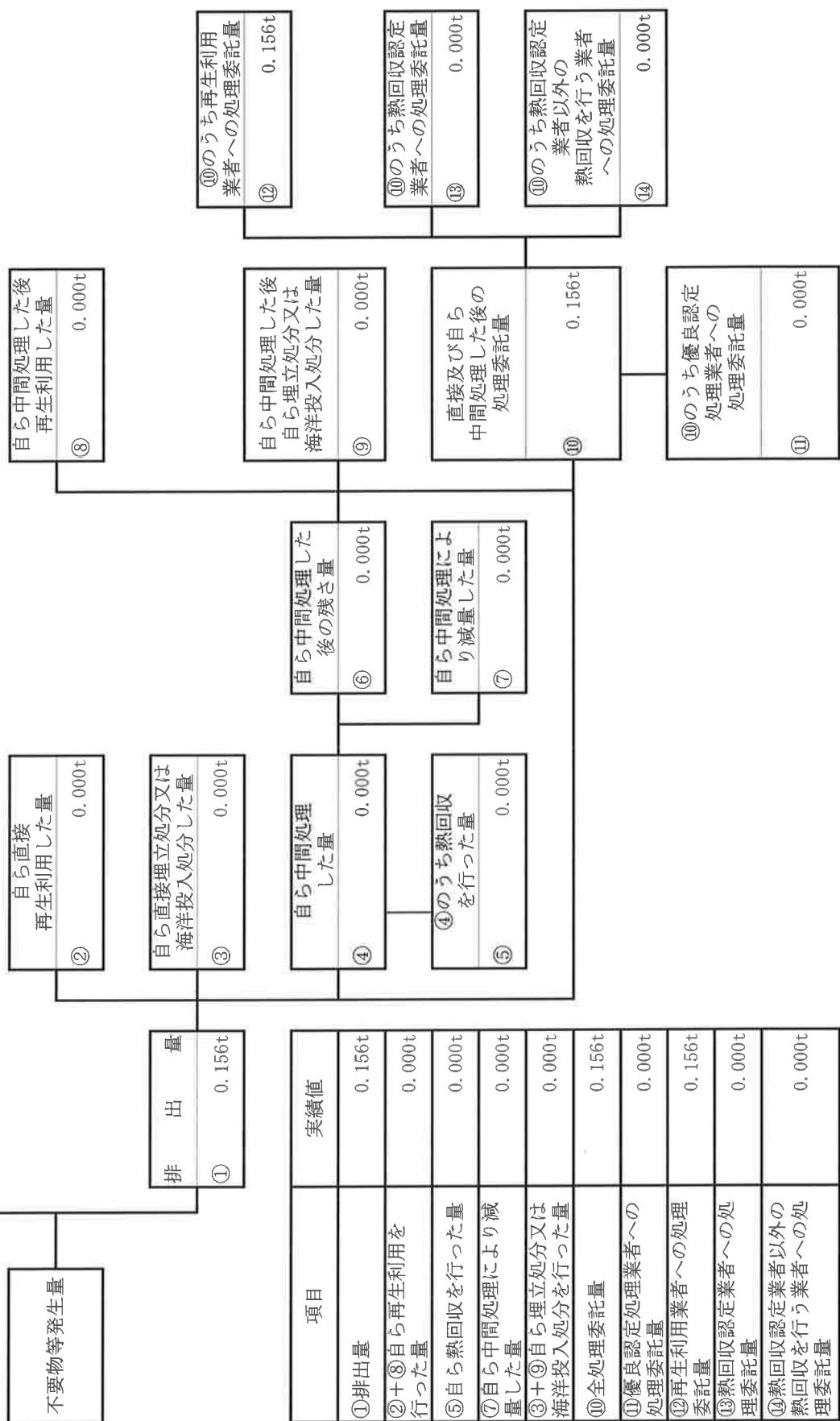
1.750t  
出量

項目	実績値
①排出量	1.750t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	1.750t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用率者への処理委託量	1.750t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収をを行う業者への処理委託量	0.000t



計画の実施状況

### (産業廃棄物の種類：産業廃棄物／汚泥・金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 産業廃棄物/燃え殻 )

有 債 物 量
---------

不要物等発生量
---------

自ら直接 再生利用した量
-----------------

② 0.000t

排 出 量
-------

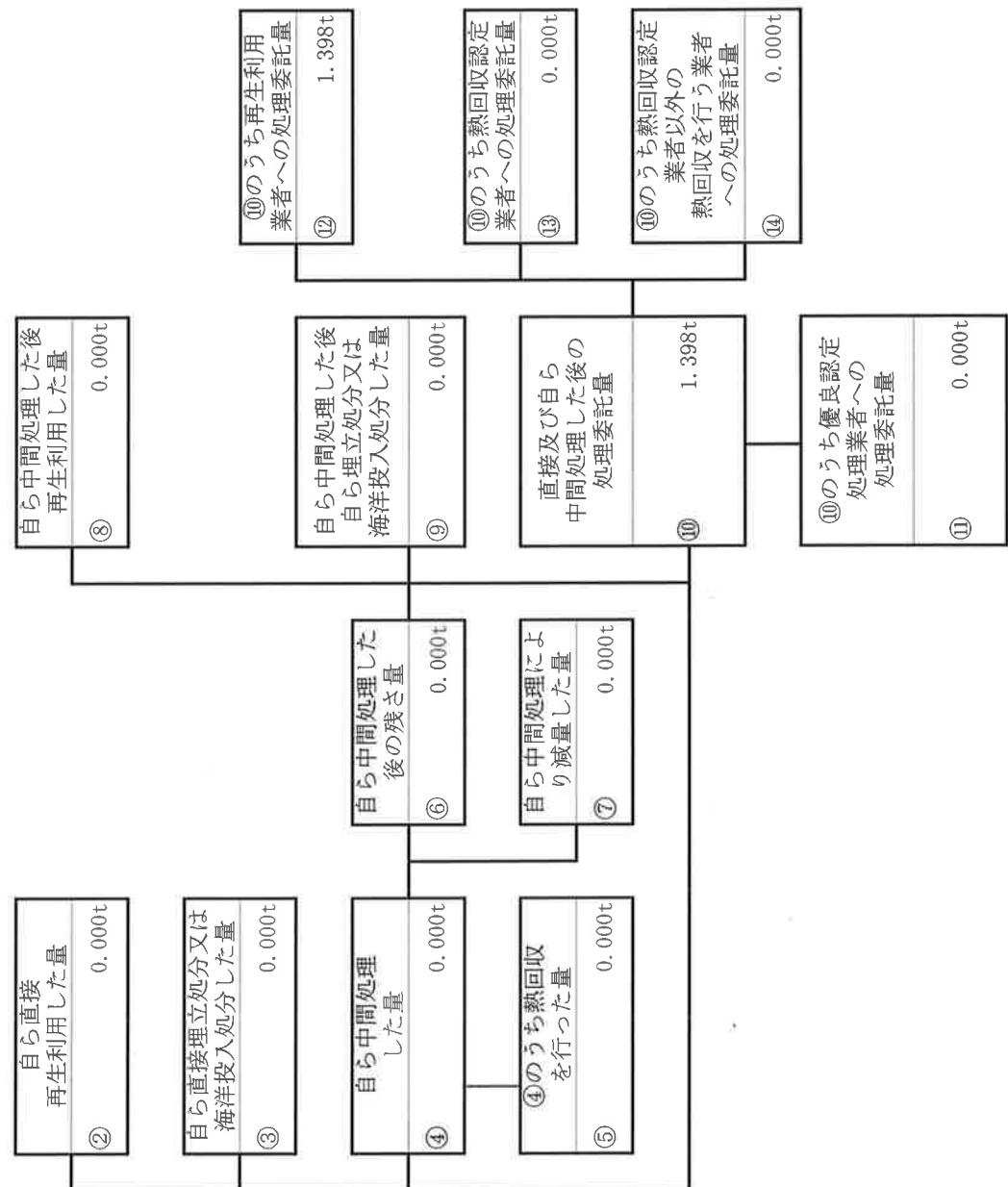
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
-------------------------

③ 0.000t

自ら中間処理した後 再生利用した量
----------------------

⑧ 0.000t

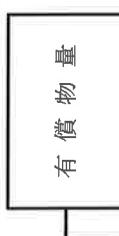
項目	実績値
①排出量	1.398t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	1.398t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.398t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 産業廃棄物/金属くず )



不要物等発生量

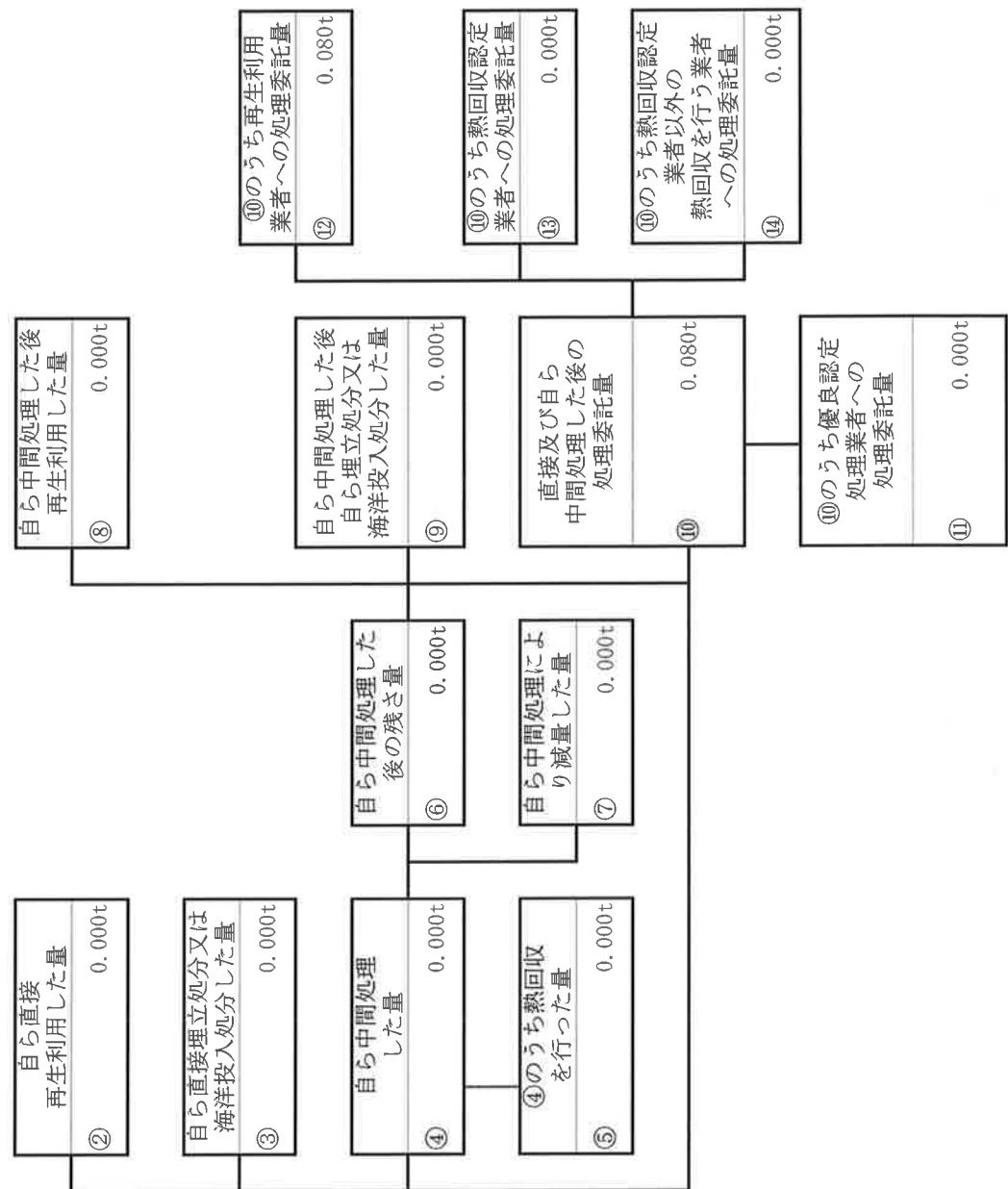
自ら直接  
再生利用した量  
② 0.000t

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
③ 0.000t

排出量  
① 0.080t

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③ 0.000t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	自ら中間処理した 後減量した量	自ら中間処理した 後減量した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量
①排出量	0.080t	④のうち熱回収 を行った量 ⑤ 0.000t	⑥ 0.000t	⑨ 0.000t	⑩ 0.000t	⑪ 0.080t	⑫ 0.000t	⑬ 0.000t	⑭ 0.000t	⑮ 0.000t	⑯ 0.000t	⑰ 0.000t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t											
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t											
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t											
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000t											
⑪全処理委託量	0.080t											
⑫優良認定処理業者への 処理委託量	0.000t											
⑬再生利用業者への処 理委託量	0.080t											
⑭熱回収認定業者への処 理委託量	0.000t											
⑮熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000t											



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。